



SUNTAC WR

お客様使用実例



実用例1

- 需要家様 自動車部品、住宅設備機器 大手製造会社
- 使用機器 三菱重工業製 850MM3 (射出成形機 850ton タイプ)

需要家様は全く同じタイプの射出成形機を2台お持ちで、2台ともオイルが漏れるので困っておられました。1台はそのままにしておき、もう一台を「SUNTAC WR 46」へ交換しました。

交換前状況 ▶ 2台ともピット内にオイルが溜まるほどのオイル漏れ。

使用機種 ▶ A号機を「SUNTAC WR 46」へ交換、交換時にピット内を清掃。
B号機は他社油をそのまま使用、A号機と同時期にピット内を清掃。

交換時期：2012年2月下旬 撮影時期：2012年6月下旬



オイル溜まりが
解消!

B号機 他油種をそのまま使用
オイル溜まりが発生



A号機 「SUNTAC WR 46」に交換
乾いた状態



オイル汚れが
大幅に減少!

B号機 他油種をそのまま使用
機械下にオイル漏れ



A号機 「SUNTAC WR 46」に交換

実用例2

- 需要家様 管工機材製造メーカー
- 使用機器 森精機製作所CNC旋盤SLシリーズ
- タンク油量 40Lタンク
- 対象品目 他社油 (VG 32)→「SUNTAC WR 32」へ切替
- 油漏れ変化 月間3~4L程度漏れ → 油漏れが止まる

需要家様はバルブ・配管などの管工機材を製造するメーカー様。この度、油漏れでお困りになされていた油圧作動油の漏洩に関して、写真を用いた実例をご紹介します。

オーバーホール出来ない機械の油漏れ

油漏れが発生していたのは24時間稼動を行うNC旋盤。油漏れは2、3年程前から発生しており、漏れてしまった油は溜まったら拭くという作業を行っておられました。工場美化も考慮して油漏れを止めたいと考えておられましたが、24時間稼動する機械という事もあり、機械のオーバーホールに踏み切る事がなかなか出来ませんでした。

SUNTAC WR32を使用!

油漏れが減少し、
止まった!!

そこで「SUNTAC WR 32」をご使用頂き、油漏れの状況を観察。その結果1ヶ月程で油の漏れが止まり始めました。その後継続してご使用いただいておりますが、油漏れは発生していないとの事です。



油が漏れ出ている状態



油漏れが止まった状態

実用例3

- 需要家様 OA 機器、自動車用金属部品の切削加工会社 ● 使用機器 野村 VTC 製 NN-16R (NC自動旋盤)
- 使用ポンプ ダイキン製 ミニバック ND89-201-10 ピストンポンプ
- ポンプ圧 35kg/cm2 ● 対象品目 他社油 (VG 32) → **SUNTAC WR 32** へ切替

A社は古くから鋳物業が盛んな三重県桑名市でOA機器、自動車用金属部品の切削加工を行い、丁寧な加工技術を売りにお客様からの信頼と実績のある会社です。この度、該社がお困りになされていた油圧作動油の漏洩に関して対策を講じた使用実例をご紹介します。

大量の油漏れを苦慮

ネジ、シャフトを切削加工するNC自動旋盤の中で、ある機器より大量の油圧作動油が漏洩していた。2~3日で10L程度も漏れ出す為、技術者の派遣を依頼し、機械の修理・調整を検討したが、高額な修繕費用が発生してしまう為、油を補給する事で当面をしのいでいた。しかし絶えずオイル残量に気をかけ、頻繁に継ぎ足す手間がかかり、更には補給するオイルのコストを軽視出来ず、環境面から考えても何か対策を講じる必要があった。

漏洩防止型油圧作動油の使用

油圧作動油の漏洩に悩みを抱えていた製造課のK係長は、仕入れ先より「漏洩防止機能」を持った油圧作動油、「SUNTAC WR 32」の紹介を受け、半信半疑で試験的に使用を開始した。

「以前は機械内部に油がなみなみと溜まり、それが溢れ出るように漏れていたのですが、**今では全く発生せず大きなコストセーブと作業環境を改善**できました」

油漏れが止まった!!

2009年3月に「SUNTAC WR 32」の使用を開始し漏洩の状況を観察。日を追う毎に徐々に漏洩量が減少し、2009年6月頃にはオイルを継ぎ足す事が無くなった。それ以降の3ヵ月間も全く継ぎ足しをしない結果となった。

K係長

実用例4

- 需要家様 パイプ加工専門会社 ● 使用機器 コムコ社製 (NCベンダー)
- 使用ポンプ ダイキン製 ローターパック ● ポンプ圧 7MPa ● タンク油量 20L タンク
- 対象品目 他社油 (VG 32) → 「SUNTAC WR 32」へ切替 ● 油漏れ変化 月間 4L 程度漏れ → 月間 1L へ減少

需要家様は愛知県でパイプ加工を専門にしておられる会社で、NCベンダーを用いて3次元曲げ加工、特殊な極小R曲げ加工等、パイプ部品の開発から試作、そして量産を行っておられます。この度、該社がお困りになされていた油圧作動油の漏洩に関して対策を講じた、お客様使用実例をご紹介します。

ISO14001 取得工場ならではの悩み

同社では環境マネジメントシステムであるISO14001を導入、オイルの納入数量、そして排出量を厳しく管理しておられます。そのためわずかなオイル漏れでも問題となり、保全部署ではその対策、改善が強く求められていました。

漏洩防止型油圧作動油の使用

しかしなかなかオイル漏れを減らすのは簡単ではありません。パッキンを交換するにしても漏れている箇所の判別が難しく、パッキンを交換するとなると機械を完全に止めて、技術者に出張を依頼しなければなりません。そんな時、当社の「SUNTAC WR 32」を知り、ご使用頂くことになりました。

油漏れが減少した!!

結果、「SUNTAC WR 32」の使用を開始して3ヶ月、テスト的に使用していた機械のオイル漏れが4分の1にまで減少しました。

「実績が出てうれしいです。近々来年の取り組みの発表があるのですが、**このオイルを使用してのオイル漏洩減少**というネタが出来ました。社長のOKが出れば、全工場で使用します。」

W課長

■ 漏洩防止に至った経緯 ■

SUNTAC WR を使用することによって使用機器のシール材 (パッキン) を適正膨潤化させ、ゴムの硬化・収縮を抑えられたと思われます。また配合された特殊添加剤が機械連結部の密閉性を高めた効果も大きく、漏洩防止に貢献しました。今後も日本サン石油はお客様からの評価データを蓄積し、製品性能の更なる改善を訴求し、環境に対応したものづくりを継続致します。



日本サン石油株式会社
JAPAN SUN OIL COMPANY, LTD.

本社：〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4 トラストイ麹町ビル
TEL. 03-3238-0236(代表) FAX. 03-3237-1028

www.sunoco.co.jp



JQA-QMA12719
JQA-EM5259
市川工場・技術研究所